

まとめテスト②

中1／データの活用 まとめ／50点満点・制限時間 25分

なまえ _____

ひづけ _____

- ・全部で50点、制限時間は25分。配点は大問の見出しに書いてある。
- ・計算は別の紙に。答えは数だけ書く（単位・％は書かない）。小数は 0.7 のように書き、分数は使わない。
- ・階級は 10～15 なら 10以上15未満 と読む。大問5は文で書く。問題文の 考えが 正しくない 理由を 書く。

大問1 求める・読む

各2点（10点）

- (1) 点数 40、50、57、60、60、63、70

60以上70未満は 何人？

- (3) 5日間の 最低気温(℃) -2、1、4、-5、3

範囲は？

- (5) 記録の 順の データ 14、3、11、6、10、2、12

中央値は？

- (2) 25人の クラスで ある 階級の 度数は 5人。

この 階級の 相対度数は？

- (4) 度数 4、7、8、5、3。3番目の

階級の 累積度数は？

大問2 読む・考える

各3点（18点）

- (1) たての 1目盛りが 5人。ある 棒の

高さは 3目盛り。度数は？

- (3) 階級は 0から 20ごと。度数は 5、9、4、2。

最頻値は？

- (5) 10回で 8回、1500回で 600回 表が 出た。

表が 出る 確率に 近い 値は？

- (2) 度数 3、5、8、4 (0から 10ごとの 階級)

20未満の 人は 何人？

- (4) 相対度数が 0.07 の とき

百分率では 何%？

- (6) A班 2、3、4、5、26点

B班 6、7、11、12、13点

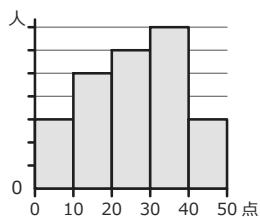
中央値が 高い 班の 中央値は？

大問3 ヒストグラムを使う

各4点（8点）

48人の 点数を 調べた。左の ヒストグラムは たての 1目盛りが 2人である。

点数 (48人)



- (1) 中央値が 入る 階級の 左はしは？

- (2) 20以上30未満の 相対度数は？

大問4 誤りを直す・データを変える

各4点（8点）

- (1) 階級は 0から 5冊ごと。度数は 7、6、4、2、1人。

中央値の 階級の 左はしは？

- (2) データ 1、3、5、7、9 に 13を

1個 加える。中央値は？

大問5 説明

6点

Dさんは、「キャップを 投げて 表が 出る 確率は 0.43 なので、
100回 投げると ちょうど 43回 表が 出る」と 考えました。
この 考えが 正しくない 理由を、確率の 意味を 使って 説明しなさい。



まとめテスト②【こたえ】

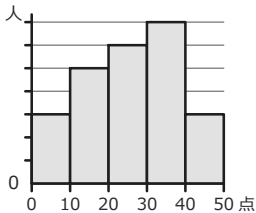
中1／データの活用 まとめ／50点満点・制限時間 25分

なまえ _____

ひびけ _____

問	正答	点	採点のめやす (×のときの誤答)	やるところ (記事の小単元)
1(1)	3	2	2 は × (70を 入れた)	① 度数分布表
1(2)	0.2	2	5 は × (総数÷度数に した)	③ 相対度数
1(3)	9	2	4 は × (最大値に した)	⑤ 代表値と範囲
1(4)	19	2	8 は × (その 階級の 度数に した)	④ 累積度数・累積相対度数
1(5)	10	2	6 は × (記録順の 真ん中)	⑤ 代表値と範囲
2(1)	15	3	3 は × (目盛りの 数を 人数に した)	② ヒストグラム・度数折れ線
2(2)	8	3	16 は × (20～30 まで たした)	④ 累積度数・累積相対度数
2(3)	30	3	9 は × (度数を 答えた)	⑥ 度数分布表からの代表値
2(4)	7	3	0.07 は × (小数に %を つけた)	③ 相対度数
2(5)	0.4	3	0.8 は × (少ない 回数で 決めた)	⑧ 相対度数と確率
2(6)	11	3	4 は × (最大値が 大きい 班に した)	⑦ データの比較・判断
3(1)	20	4	30 は × (いちばん 高い 棒に した)	⑥ 度数分布表からの代表値
3(2)	0.25	4	0.125 は × (目盛りを 人数に した)	③ 相対度数
4(1)	5	4	10 は × (表の 真ん中の 階級に した)	⑥ 度数分布表からの代表値
4(2)	6	4	5 は × (加える前の 値に した)	⑤ 代表値と範囲
5	下の 解答例	6	下の 採点基準 (2点×3)	⑧ 相対度数と確率

点数 (48人)



大問5 採点基準 (各2点)

- ① 「確率 0.43 は 多数回の 実験の 相対度数に 近い およその 値」と書く
- ② 「100回 でも 結果は ばらつき、43回より 多い・少ない こともある」と書く
- ③ 「ちょうど 43回とは 限らない。およそ 43回と 考える」と結論を書く

解答例

確率 0.43 は、多数回 投げた ときの 相対度数に 近い およその 値。100回 投げても 結果は ばらつくので、ちょうど 43回に なるとは 限らず、およそ 43回と 考える。

丸つけ 答えは 数だけで ○ (単位や %が あっても ○)。0 も 答え。大問5は 採点基準の ①～③ ごとに 2点。

考え方 (途中の式)

- 1(1)(2) 60以上70未満は 60、60、63 の 3人 (70は 入れない)。相対度数 = $5 \div 25 = 0.2$ ($25 \div 5 = 5$ は ×)
- 1(3)(4) 範囲 = 最大値 - 最小値 = $4 - (-5) = 9$ 。3番目までの 累積度数 = $4 + 7 + 8 = 19$
- 1(5) 小さい順に 2、3、6、10、11、12、14 の 4番目 10 (記録の 順の 4番目 6 は ×)
- 2(1)(2) 1目盛り 5人の 3目盛り = 15人。20未満 = 0～10 と 10～20 の $3 + 5 = 8$ 人 (16 は 20～30 まで)
- 2(3)(4) 度数が 最大の 階級 20～40 の 階級値 = 30。 $0.07 \times 100 = 7\%$
- 2(5)(6) 回数の 多い 1500回の $600 \div 1500 = 0.4$ 。中央値は A班 4点、B班 11点で B班の 11 (最大値 26 の A班は ×)
- 3(1)(2) 累積度数 6、16、28、42、48。24・25番目は 20～30 で 左はし 20。20～30は 6目盛りで 12人、 $12 \div 48 = 0.25$
- 4(1)(2) 累積度数 7、13、17、19、20。10・11番目は 5～10冊 で 左はし 5。13を 加えて 6個。3番目 5 と 4番目 7 の 平均で 6
- 5 確率 0.43 は、回数を 1000回・10000回と ふやすと 表の 割合が 0.43 に 近づく という 意味。100回 では 43回より 多い・少ない こともある (たとえば 40回・47回)。だから 「およそ 43回」と言う

声かけの 例 目盛り → 「1目盛りは 何人？」 境目 → 「その 値は 上の 階級？」 累積 → 「どの 行までの 合計？」 中央値 → 「並べ替えた？」

40点以上 仕上がり。×の 問があれば 右の「やるところ」を 1回 やってから 再挑戦。
30～39点 ×の 多い 小単元から、診断テストの 答え面の 表で 練習する 順番を 決める。
29点以下 診断テスト [A] に もどって、×の 小単元を 数える。

得点 / 50 点 ×の 問は 右の「やるところ」へ (番号は 診断テストの 表と 同じ)。40点以上なら 仕上がり。